第 12 号様式

少量危険物　貯　蔵
指定可燃物　取扱い　届　出　書

年　　月　　日

仁淀消防組合消防長　様

届出者

住所

氏名

㊞

TEL

貯蔵又は取扱いの場所	所在地	TEL		
	名称			
類、品名及び最大数量	類	品名	最大貯蔵数量	一日最大取扱数量
	第　類			
貯蔵又は取扱方法の概要				
貯蔵又は取扱場所の位置、構造及び設置の概要				
消防用設備等又は特殊消防用設備等の概要				
貯蔵又は取扱いの開始予定期日又は期間				
その他必要な事項				

※受付欄	※経過欄

備考１　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
　　２　法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
　　３　※印欄には、記入しないこと。
　　４　使用する防火対象物の略図を添付すること。

記載要領

〔少量危険物貯蔵取扱所、指定可燃物貯蔵取扱所設置（変更）届出書の記入要領〕

１．届出区分
　届出に係る区分以外を二重線で抹消します。
２．届出日
　届出書を提出する日を記入します。
３．あて先
　「仁淀消防組合 消防長」と記入します。
４．届出者
　少量危険物・指定可燃物を貯蔵し、又は取り扱う者の住所、氏名を記入します。
　届出者が法人の場合は､その名称､代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入してください。
５．貯蔵取扱所の所在地
　貯蔵取扱所を設置又は変更しようとする場所の所在地を記入します。
６．貯蔵取扱所の名称、代表者名
　貯蔵取扱所の所有者等が個人の場合は氏名を、法人の場合は事業所の名称と代表者の職・氏名を記入します。
７．類・品名（指定数量）
　危険物の類及び品名、指定可燃物の品名を記入するとともに、化学名、通称名を併記します。書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙に記入してください。
【例】
・第四類第２石油類（灯油）・可燃性液体類（大豆油）
８．最大数量
　１日のうちで、貯蔵又は取り扱う少量危険物・指定可燃物の最大となる数量を記入します。
９．指定数量の倍数又は条例別表第８の数量の倍数
　最大数量に記入した数量をもとに、その倍数を記入します。
10．危険物又は指定可燃物の貯蔵・取扱い方法の概要
　屋内貯蔵、屋外貯蔵、屋内タンク、屋外タンク、地下タンク、移動タンク等の施設形態と貯蔵・取扱い方法の概要を簡記します。
【例】
・ドラム缶で貯蔵し、ウィングポンプにより容器への詰め替えを行う。
・屋内タンクから温熱ボイラーへ燃料を供給する。
11．貯蔵取扱所の位置、構造、設備の概要
　貯蔵取扱所の概要を簡記します。
【例】
（屋外の場合）敷地南側隅、コンクリート地盤、排水溝により境界を明示する。
（屋内の場合）本館１階の北側ボイラー室、主要構造部は耐火構造。床面は浸透防止構造。
12．消防用設備等
　消防用設備等の種類と設置数を記入します。
【例】
・粉末消火器（10 型）　２本
13．貯蔵又は取扱いの開始予定期日
　貯蔵又は取扱いを開始する予定年月日、期間を記入します。
14．その他必要な事項
　設計者、施工者等の所在・名称・電話番号のほか、特異な事項等を記入します。

※タンクにより貯蔵取扱いをする場合で、水張（水圧）検査が終了しているものは、検査機関、検査年月日及び検査番号を記入してください。

◇届出書の概要（制度の概要）

少量危険物施設等を設置されている方やこれから設置しようとしている方が、届出書に必要な書類等を添付して、提出することにより確認をします。

◇届出書の根拠

仁淀消防組合火災予防条例第 46 条
指定数量未満の危険物及び指定可燃物の貯蔵及び取扱いの技術上の基準等
指定可燃物等の貯蔵及び取扱いの技術上の基準等

◇申請者

少量危険物施設等を所有・管理している事業所等もしくは事業所から委任を受けた者

※添付書類

（1）届出書2部
（2）必要な添付書類
・配置図詳細図、構造設備の概要図、その他必要な書類